



国民の森林・国有林

中部森林管理局

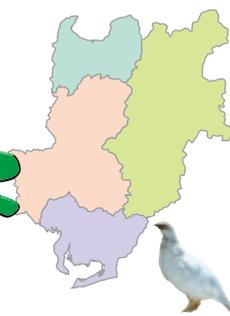
〒380-8575 長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://www.chubu.kokuyurin.go.jp/>

広報

# 中部の森林



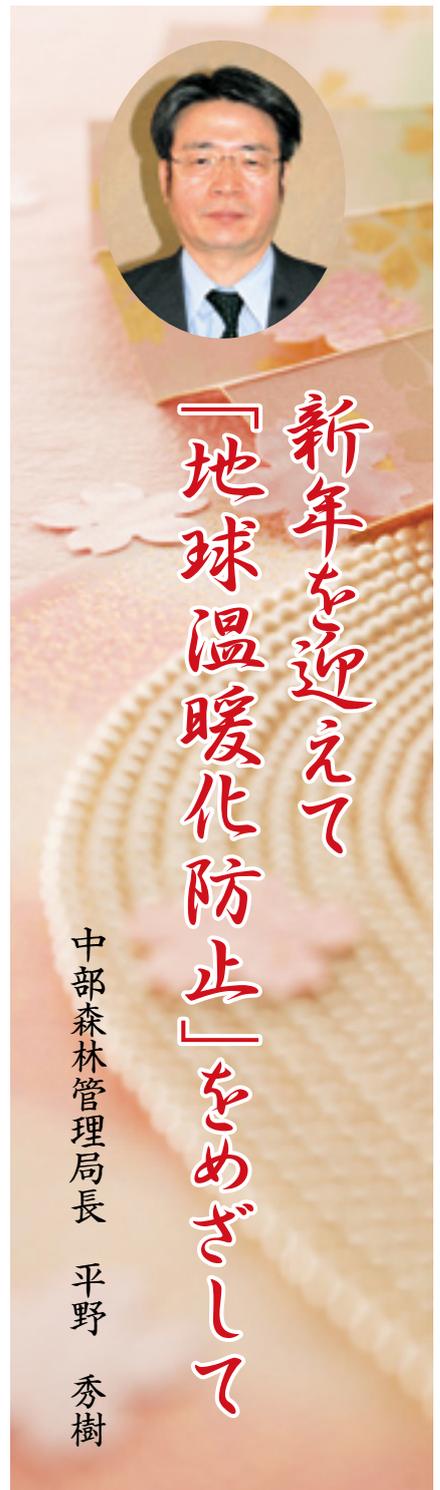
# 賀正

雪積もる不帰岳

主な項目	○ 平野局長年頭挨拶 .....	P2
	○ 2008年 主な出来事 .....	P4~5
	○ 風景紀行 .....	P6



この広報誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、京都議定書の第一約束期間が始まり、わが国が約束した温室効果ガス削減目標六・〇割のうち三・八割を健全な森林整備などにより二酸化炭素の吸収で削減することになっていきます。このため、平成十九年度から六年間で三三〇万ヘクタールの間伐を実施することとして、取組を強化しています。

中部森林管理局は、長野・富山・岐阜・愛知県の四県に所在する国有林を管轄していますが、「日本の屋根」といわれる日本アルプスをはじめとした、脊梁山脈を擁しています。

この地域は、信濃川、木曾三川などの源流地帯でもあり、水資源のかん養や国土自然環境の保全など、私たちの生命や暮らしに欠かすことのできない森林の

# 新年を迎えて「地球温暖化防止」をめざして

中部森林管理局長 平野 秀樹

多様な機能を発揮している地域であります。また、木曾・東濃地方に代表される木曾ヒノキや人工林ヒノキ、更にはカラマツなどの産地として我が国有数の林業地帯ともなっています。

このような地域に所在する当局の立地条件を活かし、本年も森林・林業基本計画の理念に即して「木の交流」・「水の交流」・「人の交流」をキーワードとした具体的な取組を推進していくこととします。

## ◆木の交流

地球温暖化防止対策及び災害に強い森林づくりのため、間伐等の森林整備を対前年度比一五二割を予定するなどの強化を推進し、それに伴い生産される利用可能な木材を有効に活用することとしています。このため、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率な

作業システムの整備・普及を民有林関係者も含めて推進していくこととしています。

また、上・下流域に所在する原木市場などの民間事業者、そして近隣の森林管理局間と情報交換を行いつつ、消費者や木材関連業界のニーズを取り入れた木材の生産・販売等を行うとともに、木材需要の動向や業界の将来展望を踏まえた対応を検討することとしています。

## ◆水・人の交流

管内には、信濃川、木曾三川、神通川、天竜川、庄川などの我が国有数の河川があり、下流域の水量の安定や良質な水の確保、水にかかわる要請に 대응することも国有林の大きな使命の一つと考えています。このため、上・下流域の関係者の連携のもと、長伐期化、針広混交林化など百年先を見据えた多様な森林に誘導

していくこととしており、地域のニーズに合った森林整備を進めることとしています。

また、森林とのふれあいや森林整備に参加するボランティア・NPOの活動に国有林のフィールドを提供するなど、上流域と都市住民の交流や連携の支援を行っていくこととしています。

以上、年頭にあたりまして、所感の一端を申し上げたところでありますが、本年が災害のない明るい職場であることを願うとともに、ご家族ともども皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、年頭のあいさつといたします。



# 今年の干支は己丑



今年の干支は「己丑」です。

「己丑」は「つちのとうし」と読み、六十干支の二十六番目です。

「丑」は、牛のことです。

牛は、古来から人間と密接な関係があり、肉は大切な食料となりましたし、血は、むかし、諸侯が同盟を結ぶ際、牛の耳を切って（牛耳る）その血をすすったといわれています。

現在は、焼き肉屋でおなじみの牛肉もサーロイン、リブロース、タン、ハツなどいろいろあります。牛は、四つの胃袋を持ち、一度飲み込んだ物を再び口に戻し反すうして細かくかみ砕いた食べ物を胃の中の微生物が食べ、微生物が大量に増殖し、それを牛が消化して栄養としています。四つの胃は焼き肉屋では、第一胃をミノ、第二胃をセンマイ、第三胃をハチノス、第四胃ギアラと呼んで私たちを楽しませてくれます。

「丑」の字は、手の指を曲げて物を握る様子を表した象形文字で、つかむ、からむという意味があります。芽が種子の内部で伸びきらない状態を表す「紐」にその意味がうかがえます。

「丑」にまつわる言葉として、「丑三ツ刻」があります。時代劇でおなじみの「草木も眠る…」は午前二時から午前二

時半頃になり、まさに静まりかえった真夜中で、怪談のフリーズには欠かせませんね。

「土用の丑の日」は、ウナギでおなじみの日で、夏の土用（立夏前の約十八日間）に巡ってくる丑の日のことです。十二日に一回巡ってくるため、年によっては二度目の「土用の丑の日」があり、これを「二の丑」というそうです。

牛は、古来より天神様のお使いといわれ、学業成就・財運向上・家内安全のシンボルといわれています。

平成二十一年を迎え、今年も良い年でありますように。



## 行事・会議等の予定

◎中部森林技術交流発表会

2月4～5日 長野市

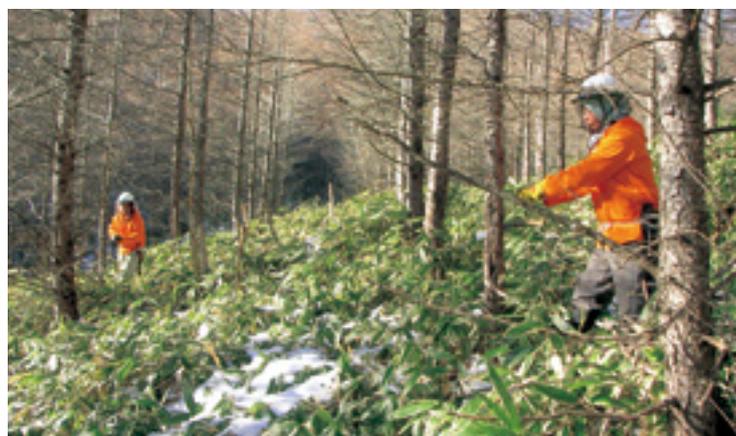
◎中日造林賞

2月26～27日 名古屋市

## シリーズ 現場最前線

―チームワークで無災害―  
「東信森林管理署 合同班」

当班の現場は、長野県佐久市を管轄する佐久平森林事務所と佐久穂町を管轄する佐久森林事務所の国有林です。このため四名の班員は二班に分かれたり、合同で作業を行ったりと業務内容に応じた効率的な作業形態をとっています。また、作業現場が東西南北に離れているのが特徴で、車の運転距離が長くなることから、運転には特に気をつけています。



除伐Ⅱ類作業中



みんなそろって

主な作業は、除伐Ⅱ類等の各種造林作業、木製横断排水工の作製及び敷設等の林道維持修繕や収穫調査、巡検等です。

このような多岐にわたる業務を無災害で乗り切るため、毎月初めに緑十字の日には、安全推進員が司会を行い、全員で安全について話し合うなど一丸となつて、取り組んでいます。

また、朝の打合せでは、班長、安全推進員が積極的かつ中心的な役割を果たし、その日の作業のポイント、危険箇所等を話し合っています。

これから冬山を迎え、作業条件が一層厳しくなるなか、無災害を心に誓い安全作業に取り組んでいきたいと思っ

# 二〇〇八年 主な出来事

## ◆1月◆

24 国有林モニターによる「モニター会議」 (中部局)

## ◆2月◆

1 地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画検討会 (中部局)  
7 中部森林技術交流発表会 (中部局)  
12 治山・林道工事コンクール表彰式 (中部局)

13 下諏訪森林事務所新築 (南信署)

15 佐久森林事務所新築 (東信署)

18 治山・林道工事コンクール表彰伝達式 (名古屋市内)

19 森林管理署長等会議 (中部局)

26 木曾駒ヶ岳自然再生検討会 (南信署)

26 中日造林賞贈呈式 (名古屋市内)

## ◆3月◆

10 北信森林管理署新築 (富山署)  
25 上市森林事務所新築 (富山署)

## ◆4月◆

7 「遊々の森」源流の森協定調印式 (飛騨署管内)

20 木材販売促進「春姫道中」 (名古屋市内)

23 平成二十年度事業概要を記者発表 (中部局、名古屋事務所)

24 局長等会議 (長野庁)  
29 「みどりのフェスティバル08」開催 (瀬戸市)

## ◆5月◆

3 「岐阜県みどりの祭」開催 (大垣市)

4 緑の募金の街頭募金を実施 (長野市)

10 林野庁主催「H20年度森林の市」 (東京都日比谷公園)

15 森林管理署長等会議 (中部局)

17 「愛知県植樹祭」開催 (大口町)

22 技術開発委員会

23 「とよま森の祭典」開催 (砺波市)

24 「未来世紀へつなぐ緑のバトン育樹祭」開催 (王滝村)

31 「長野県植樹祭」開催 (長野市)

## ◆6月◆

7 低コスト作業システム現地検討会 (飛騨署管内)

16 高山植物等保護対策協議会 (中部局)

19 流域管理推進会議 (中部局)

20 木材安定供給協議会中部ブロック会議 (石川県)

## ◆7月◆

1 全国安全週間

14 「国有林防災ボランティア制度に関する協定締結」 (中部局)

16 低コスト作業システム打合せ会議 (中信署管内)

14 「国有林防災ボランティア制度に関する協定を終えて」 (中部局)

## ◆7月◆

7 南アルプス仙丈岳ニホンジカ防護柵設置 (南信署管内)

30 全国源流シンポジウム (木祖村)

## ◆8月◆

1 「青川源流の森」における保全・整備等の活動に関する協定調印 (東濃署)

4 教職員森林環境教育研修会 (木曾署管内)

6 愛知署管内

## ◆9月◆

3 国有林野管理審議会 (中部局)

18 流域管理調整官会議 (中部局)

10 造林現地検討会 (岐阜署)

10 国有林モニターの国有林視察 (北信署管内)

11 平成十九年度決算概要を公表 (中部局)

13 信越トレイル全線開通記念シンポジウム (北信署管内)

18 中央アルプス木曾駒ヶ岳周辺の植生復元 (南信署管内)

26 低コスト作業システム現地検討会 (北信署管内)

27 「木曾川・森づくりin赤沢」を開催 (木曾署管内)



完成した北信署新庁舎



雨中の長野県植樹祭



国有林防災ボランティア制度に関する協定を終えて



南アルプス仙丈岳ニホンジカ防護柵設置の取材状況

◆10月◆

- 1 木づかい推進月間
- 2 「遊々の森」和田小学校「黒耀の森」協定調印式 (東信署管内)



和田小学校「黒耀の森」協定調印式

- 23 日本ジャーナリストの会国有林視察 (北信署管内)
- 25 親子の森林体験教室 (北信署管内)



日本ジャーナリストの会  
国有林視察

- 7 ヒメバラロミ検討会 (中部局)
- 10 ヤツガタケトウヒ保護管理現地検討委員会 (南信署管内)
- 12 報道機関の国有林視察 (北信署管内)
- 13 治山事業連絡調整会議 (飛騨署管内)
- 18 中部ブロック国産材安定供給協議会 (石川県)
- 17 本庁監査(21日まで)

- 7 林道現地検討会 (南木曾署管内)
- 7 国産材循環利用功労者感謝状贈呈式 (上松町)
- 8 木材利用推進要望活動 (高山市・飛騨市外)
- 11 「森林の絵画コンクール」表彰式 (名古屋市内)
- 17 グリーンボランティア・サミット (東濃署管内)
- 18 地域住民との連携強化地区懇談会 (飛騨署管内)
- 20 森林管理署長等会議 (中部局)
- 22 治山現地検討会を開催 (木曾・南信署管内)
- 22 低コスト作業システム現地検討会 (南信署管内)

- 26 「未来世紀へつなぐ緑のバトンどんぐり祭」開催 (王滝村)
- 26 国有林野等所在市町村長有志連絡協議会 (松本市)
- 27 林政記者クラブ国有林視察 (富山署管内)
- 28 保護林モニタリング調査現地検討委員会 (北信・東信・飛騨署管内)
- 30 指導普及連絡会 (愛知署管内)
- 31 長野県産材振興対策協議会要請行動 (中部局管内)



大型猛禽類の生態と森林施業講演会

◆12月◆

- 5 低コスト作業システム現地検討会 (愛知所管内)

- 7 地域住民との連携強化地区懇談会 (飛騨署管内)
- 8 大型猛禽類の生態と森林施業講演会 (北信署管内)
- 26 検知講習会 (南木曾署管内)
- 27 低コスト作業システム現地検討会 (東濃署管内)

二〇〇八年に実施した  
森林ふれあい推進事業等

森林ふれあい講座	
12/7	手作りリースづくり (愛知所管内)
11/22	鑑賞炭づくり体験 (愛知所管内)
10/18	木曾ヒノキ備林散策他 (東濃署管内)
8/23	森の工作 (名古屋事務所)
6/14	ゲンジホタルの観賞会 (愛知所管内)
5/31	湿原の植物観察 (名古屋事務所)

名古屋シティ・フォレスター事業	
4/19	ツツジの植え込み作業 (愛知所管内)
4/24	ヒノキの植樹作業 (東濃署管内)
5/14	登山道整備作業 (岐阜署管内)
6/14	遊歩道チップ敷き作業 (木曾署管内)
6/20	巨樹巨木遊歩道整備作業 (岐阜署管内)
6/24	水源林の下刈作業 (富山署管内)
7/15	高山植物保護作業 (富山署管内)
7/30	下刈作業 (南木曾署管内)
8/30	高山植物保護作業 (飛騨署管内)
9/6	遊歩道チップ敷き作業 (木曾署管内)
9/27	登山道整備作業 (飛騨署管内)
10/25	見本林下刈等作業 (愛知所管内)
11/6	枝打作業 (東濃署管内)
11/15	間伐作業 (愛知所管内)
11/20	枝打作業 (愛知所管内)



小秀山と加子母

〔東濃署〕 加子母は、中津川市の最北部に位置しており九十四郡が山林で覆われた林業が盛んな地域です。その北端には当署が管轄する加子母本谷国有林があります。

ここには飛騨川の支流「白川」の源流があることから、水源かん養保安林、県立自然公園にも指定され、その豊富で綺麗な水は、地元や下流域の住民からも注目されています。

北は下呂市、東は長野県王滝村と接していますが、その長野県との県境に小秀山があります。

小秀山は、御嶽山の南方に位置する阿寺山系の最高峰であり、日本二百名山の一つにも数えられています。

標高は、一、九八二メートル、麓の登山口には乙女溪谷キャンプ場があり、そこから山頂までは四〜五時間の行程です。

春は、アカヤシオやオオヤマレンゲ、

夏にかけてはタマアジサイなどの花が咲き、登山道では夫婦滝など大小様々な滝や、兜岩などの巨石を間近に見ることが出来ます。

特に山頂からの景色は素晴らしく、晴れた日には中央アルプスや白山まで見渡せます。また御嶽山を一番美しく眺められるポイントとしても知られており、その眺望を求めて、年間約五千人を超える登山者が訪れています。

他にも加子母には、多くの見どころがあります。

この東濃地方は、全国でも珍しい「地芝居」の盛んな地域で、かつては六十棟以上の農村舞台がありました。

「明治座」もその芝居小屋の一つで、明治二十七年に村の有志たちによって建てられました。

小屋といっても回り舞台や両花道を備えた劇場形式の立派な建物で、梁には樹齢四百年、長さが十四メートルもある巨木が使用されるなど、随所に当時の熱意が感じられます。

現在は、県の重要有形民俗文化財に指定されており、明治座活用委員会により年間を通じて開館され、秋には地元の加子母歌舞伎保存会により、地歌舞伎が公演されるなど、大切に守られています。

まだまだ見どころは沢山あります。

美しい山の景色と歴史・文化が息づく加子母を訪れてみてはいかがでしょうか。

◇アクセス方法

『小秀山登山口』

中津川ICから国道二五七号線を下呂方面へ車で約五十分。

乙女溪谷キャンプ場へ（案内看板あり）

『明治座』

中津川ICから国道二五七号線を下呂方面へ車で約四十五分。  
（案内看板あり）



小秀山から望む冠雪の御嶽山



明治座



兜岩からの眺望を楽しむ登山者